

中学生の部



壁新聞



作文



絵画

壁新聞

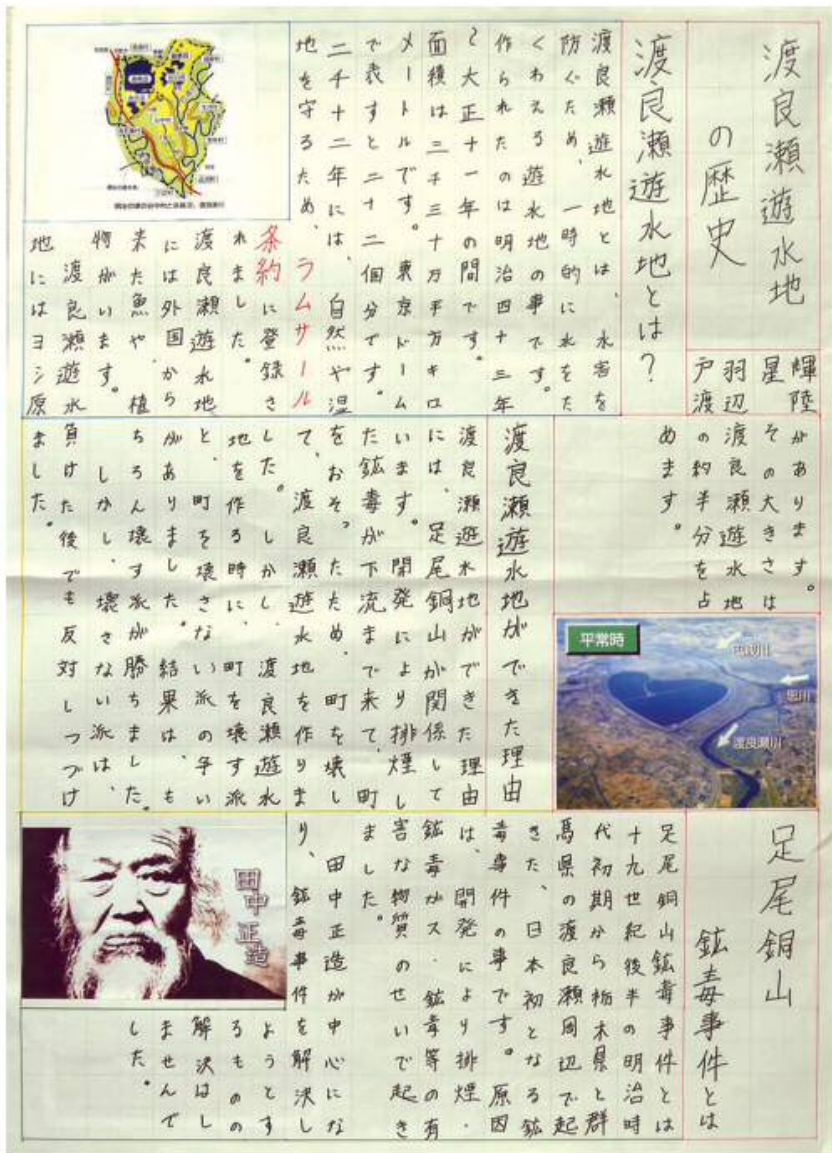
中学生の部

最優秀賞



『渡良瀬遊水地の役割』

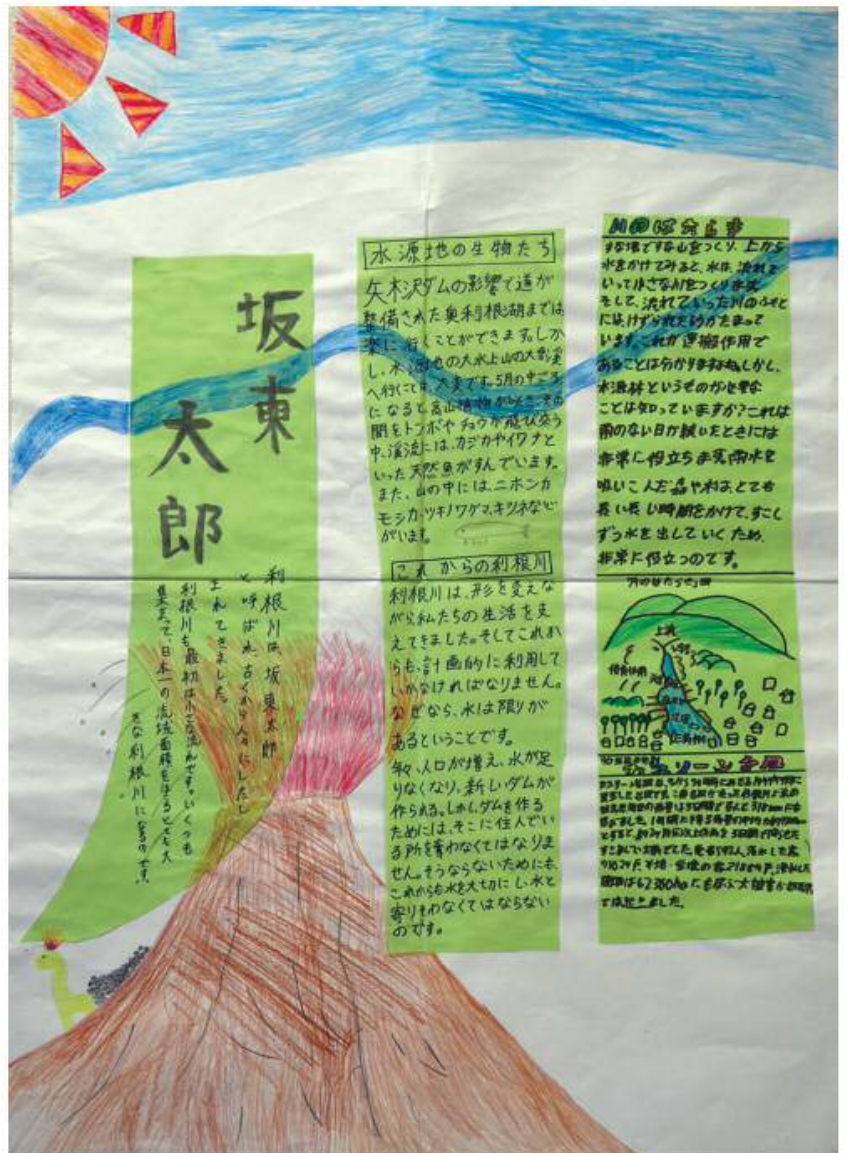
中田 結月、田村 奏生、塚田 綾乃
〈栃木県小山市立乙女中学校2年〉



『渡良瀬遊水地の歴史』

戸羽 星輝、渡邊 陸

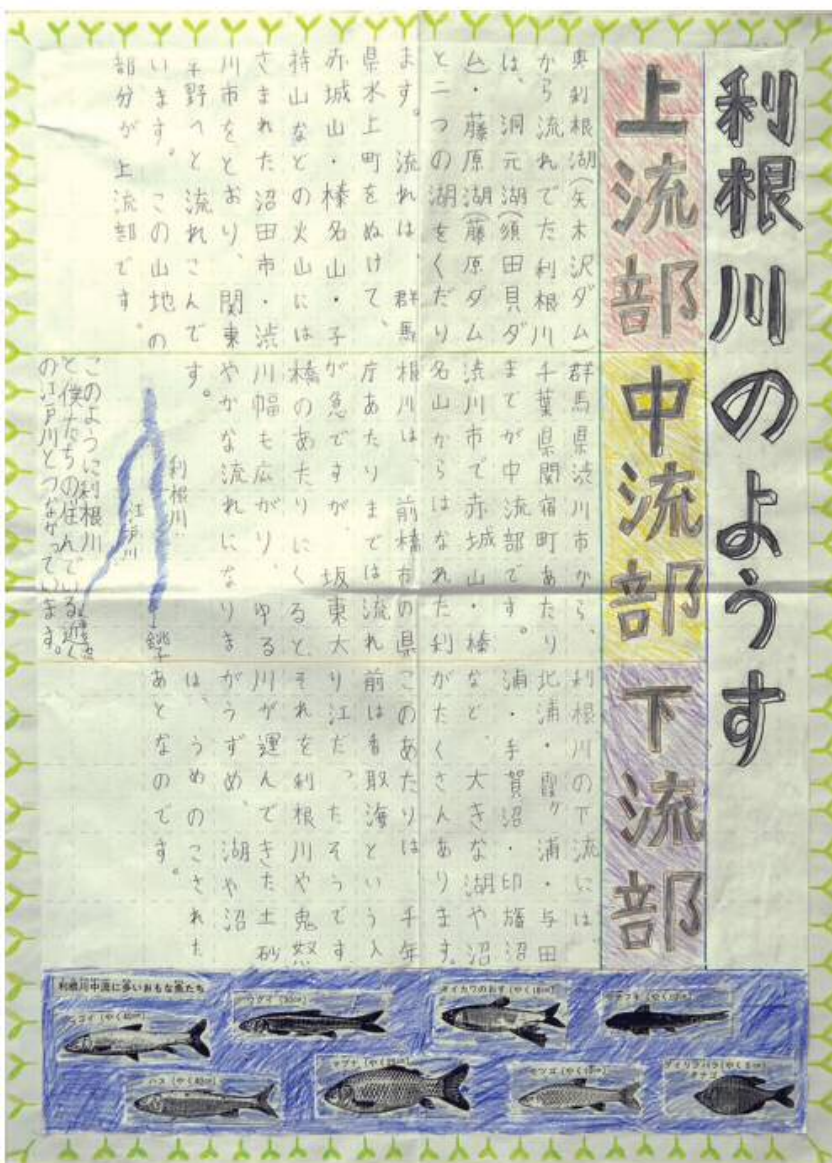
〈栃木県小山市立乙女中学校2年〉



『神祕なる利根川』

橋口 純平、近野 永二、萩田 力斗、矢澤 彰太郎、山本 太陽

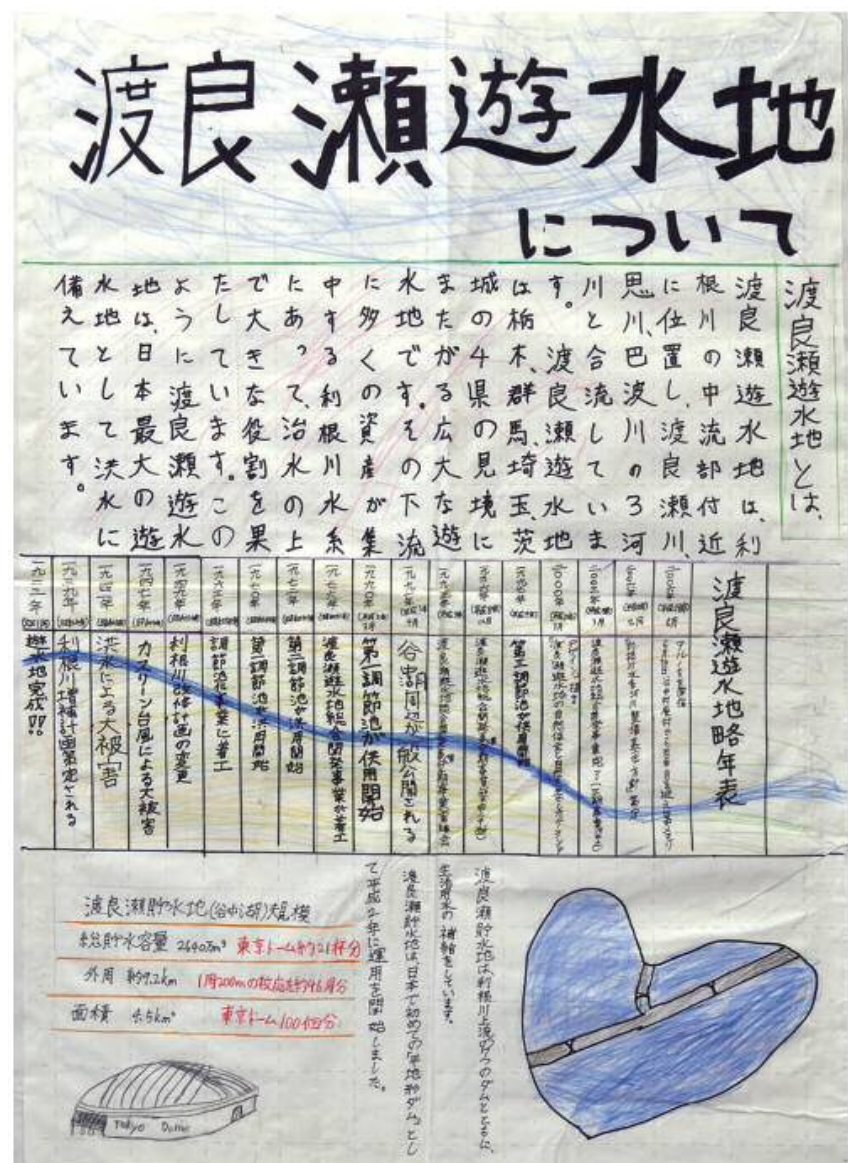
〈東京都江戸川区立小岩第三中学校2年〉



『利根川のようす』

山中 萌人

〈東京都江戸川区立小岩第三中学校2年〉



『渡良瀬遊水地について』

小林 瞬介、井上 龍洋

〈東京都江戸川区立小岩第三中学校1年〉

變化する巴波川

栃木南中学校一年 小関 孝乃

私の家の近くには巴波川が流れています。

小学生の時は、毎日巴波川の土手を通つて通学をしていて、鯉が泳いでいる姿を見たり、学校の奉仕作業で巴波川の草取りをしたことがあります。また巴波川は町なかにも流れていて、五月にはこいのぼりがたくさん流ぐイペントがあり、舟があり、風リして、栃木市に住んでいる人だけでなく、観光に来る人も楽しませてくれます。

そんな楽しい思い出の多い巴波川ですが、一度だけ怖かったことがあります。それは二年前の関東東北豪雨です。いつも見ていた穏やかな巴波川とは違つて、たくさん降った雨のせいで川の水があふれてしまい、家や田畑が水に浸かりました。テレビや新聞で見ました。私の親せきの家でも、野菜を作っていた畑が水に浸かり、作っていた野菜がダメになりました。そして、家に床の下まで水が

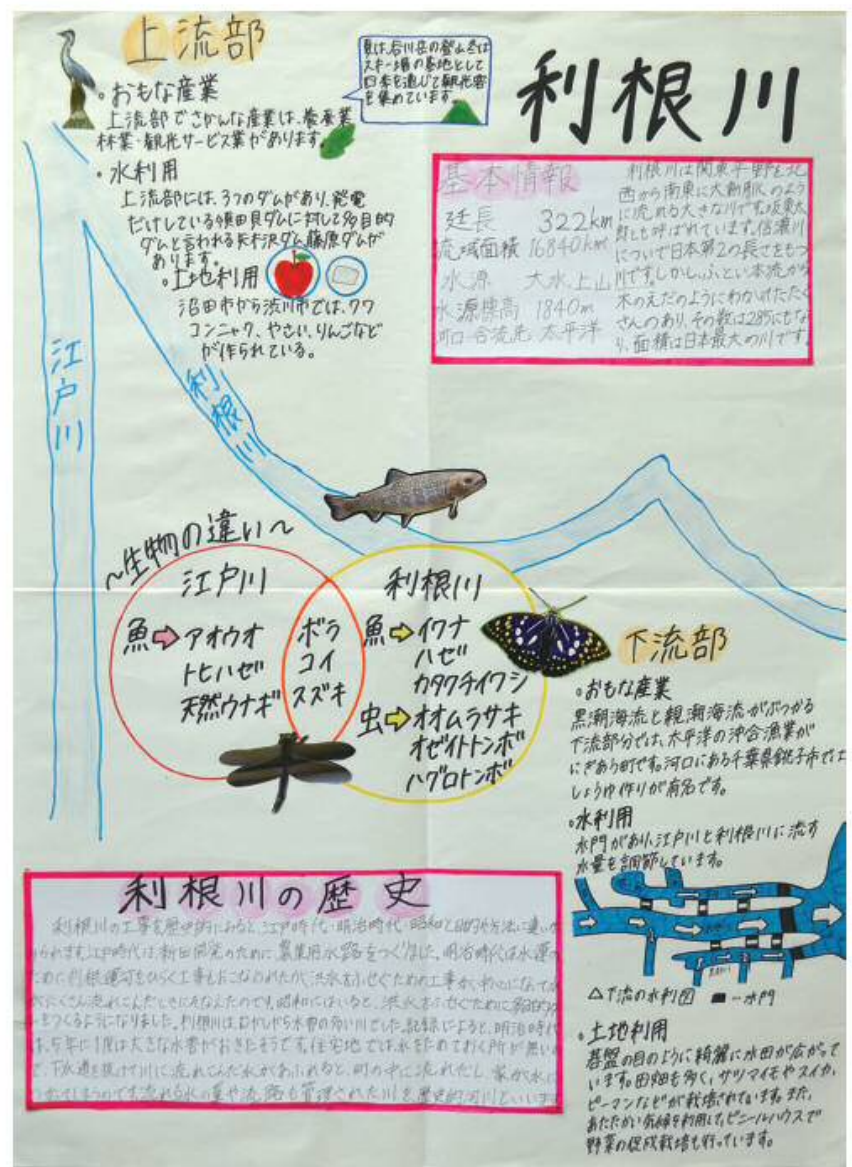
来た話とお母さんから聞きました。私はいつも見えていた巴波川がこんなことになつていろと聞いてゐても驚きました。また川は楽しいところという考えを持つていたけれど、怖い一面もあることをこのとき知りました。

あれから二年がたち、中学生になつて、通学路も変わり、巴波川を見ろ機会は減り、川遊びなどもしなくなつたので、今はあまり川への親しみがなくなつてしまいました。なのと今後は川に関するイベントなどに参加して

また川に親しむをもつて見たいと思つています。そして、みんなが安心して川や遊べたりできるように、三年前の大雨のような川を怖いと思うことが起きなければ良いなと思ひました。

『変化する巴波川』

小関 夢乃 (栃木県栃木市立栃木南中学校1年)



『利根川』

内藤 綾乃、大野 留奈、景山 琳子、田中 ひなた
〈東京都江戸川区立小岩第三中学校3年〉

二年前の災害	熊本 昂樹
二年前の九月、関東で大雨が降りました。それは今までにない、激しい勢いでとても大量に降りました。	
僕の住んでいる町でも道路は川のようになっていて、二が道は分かんなくなっていました。何で知っていたのかというと、僕の祖母がその日は一人で山の近くの家にいて、僕の家からだと十五分くらいだから心配なので、お父さんとお母さんと妹と様子を見て車で出かけたのです。でも前がよく見えないのと、道路が川のように分かんなく、怖くなり途中で引きかえしてきました。祖母にはお母さんが「絶対家から出るんじゃないよ」と電話をしました。	
テレビをつけました。家の中に水が入り、たまり、家が流さ水たり、車も流さ水て、今まで住んでいた町が跡形もなく、なくなっている映像を見ていて、自然災害とはいふとても怖	

いことだと思いました。

幸い、父の家や祖父や祖母の家では、何と
被害はなかっただけで、父の住んでいる市では
大きな川が氾濫して家の中や車の中に水が入
り避難をしていたという話を聞きました。

二の二年前の大雨は忘れられないことではな
まら

『二年前の災害』

岩本 昂樹（栃木県栃木市立吹上中学校3年）

天降川の思い出
土呂中学校二年 川糸 那奈子
私は、鹿児島県を流れる天降川が大好きです。夏休みには帰省のために訪れた天降川の素
ばらしを一人でも多くの人に知って欲しい
と思い、作文を書いてみることにしました。
天降川と書いて、あまりがわと読みます。
鹿児島県の隼人町の祖母家の近くを流れる穏
やかな流れの川で、古くから地元の人に愛さ
れている川です。小さい頃、私は祖母に何度
も川の名前を「あまりがわだよ」と教えても
うったのに、私は名前を覚えてくれず、「もり
がわ」と覚えていたというエピソードがあり
ます。今、考えると笑えるのですが、あまり
がわと書く、自然に恵まれた天降川がすく
に思い浮かびます。
私が、天降川のことで一番思い浮かべる
出来事は釣釣りです。たくさん釣が生息し
ていて、夏には、多くの釣り人までぎれいま
す。幼い頃、私は、祖母と父と姉と一緒に、

鰯釣りをしました。すぐに釣れるかと思つて最初ははし。いていましたか、なかなか釣れなかつた。思い出があります。自分では、釣ることのてきなかつた。釣てすか、家族で鰯釣りをしたことはしつかりと覚えています。釣つた鰯を祖母は上手に調理してくれ、天然鰯の塩漬きはこんなにおいしいのがと感動したのを覚えています。

夏休みに帰省する一番の楽しみは、岡山山の夏祭りでした。祖母の作つた塗衣を着て、姉と一緒に盆踊りに参加し、夏の餘日記に思い出を書いたのを今でも覚えています。お祭りの最後は天降川からみえる打上花火は、とてもきれいでした。人々を笑顔にしてくれる花火、私の心に夏の思い出として、しつかりと記憶され、心に刻まれています。

祖母が亡くなつてから、鹿児島に帰省する機会も少なくなりました。祖母との思い出がつぎつぎと天降川の良さを、美しさを、すばらしさを一人でも多くの人に知つて欲しいです。

『天降川の思い出』

川添 那奈子 (埼玉県さいたま市立土呂中学校2年)

「私加知。てる川の事」

江戸川区立小岩第三中学校
二年 猪頭 里稻

私は、「川」について色々な体験や思いがあります。例えば、古山の川。高い山に流れる川は、夏でも氷の様に冷たく、アリンを作ることもできました。冬では、川の水が凍り、もうようはとても美しいです。

「平地の川」の代表は、私にとりて江戸川です。江戸川は、「山の川」と異なり、ゆくりと流れています。その流れを見ながら、川のことを考えたりします。

川の中には、目に見えない程小さいプランクトンから、大きな魚まで住んでいます。顕微鏡を使えば、ケンジシロコを見た事もありません。魚はなかなか見えないのですから、釣りをする時、ハセなどか釣れます。

「川」の水は、飲み水や農業用水、工場などに使います。私達は、川がたくさんの恩恵をもらっています。川を汚さない様に、食

配、ていきたいです。

『私が知っている川の事』
猪頭 里桜（東京都江戸川区立小岩第三中学校2年）

思川	乙女中學校	三年	田中	温音
学校に行く朝、僕は七時五分に家を出る。 自転車までいで三分位走ると、思川の土手に 出る。僕はいつもの自然と思川に目を向けてし まう。空気が澄んで、いる朝を知らぬ。土手が ら見える思川は、水面がキラキラと輝いてい る。いつ見ても飽きない。僕の大好きな景色 だ。その景色も季節によって姿を変えさる。 春には、思川を渡る人を向こう側の土手の 上にあるツバ色の桜が咲き、土手沿いには黄色 い菜の花が咲き、日ごと土手沿いも埋め尽くす。 晴れた日には青空も加わって、とてもきれいな 景色になる。一日の始まりに心が躍るそれ が、僕にとってはいい景色。 夏には、思川の川幅も細くなり、川原が水 干し顔を出す。土手には、僕の背くらいいま 草が生い茂る。草むらの向こうに、細くか りやかに流れる思川が見えたと、東の間の深し くと感じる。				

へい、僕の一癖好きな秋になると、土
 の周りの田んぼに、トンボが飛び始め、思川
 の水が育、大稲穂が風に揺れて、夏を打つ。僕
 は思川を横目に、その思川で大きく育、大稲
 穂に向かう。二季の坂道を降りて行く。稲穂
 に囲まれた一本道を自転車で通るのが大好き
 だ。

僕は小学校六年生の時に今の家に引越して
 来て、この景色を見ながら三年生、通学し
 ている。来年度の春には高校生活になり、この通
 学路を通る事はないだろう。そう思うと少し
 さみしい気持ちになる。

土手から見える思川。きくと大人になり、
 音を懐かしむ時、僕の頭の中には、この景色
 達が浮かんでくるのだろうと思う。僕の朝と
 元気にしてくれるまはるしい景色を僕はす。
 と忘れないううう。

『思川』
田中 温音（栃木県小山市立乙女中学校3年）

絵画

中学生の部

最優秀賞



中学生の部

佳作

作文



『川のある風景』
須田 実侑（栃木県小山市立乙女中学校2年）

[illegible][illegible]

『江戸川』
東福寺 翔（東京都江戸川区立小岩第三中学校2年）

絵画

中学生の部

佳作



中学生の部

優秀賞

絵画





『川のある風景』

加古 惲乃 〈栃木県小山市立乙女中学校1年〉



『川のある風景』

石橋 麻歩 〈栃木県小山市立乙女中学校1年〉



『川のある風景』

野木 萌乃花 〈栃木県小山市立乙女中学校1年〉



『川のある風景』

黒倉 鈴美麗 〈栃木県小山市立乙女中学校1年〉



『渡良瀬遊水地の絵』

関口 穂香、山口 愛心
〈東京都江戸川区立小岩第三中学校1年〉



『一面に広がる渡良瀬の風景』

荒木 麗 〈東京都江戸川区立小岩第三中学校1年〉



『川のある風景』

松坂 廉士 〈栃木県小山市立乙女中学校1年〉



『利根川』

武藤 有希 〈東京都江戸川区立小岩第三中学校2年〉

絵画



中学生の部

佳作



『江戸川』

小笠原 昇大
〈東京都江戸川区立小岩第三中学校2年〉



『未来へ残したい風景』

遠藤 優里
〈東京都江戸川区立小岩第三中学校2年〉